

募集

生涯学習県民大学募集

- 講座名 志布志高校絵画講座
 - 対象 県内に居住する一般成人
 - 募集定員 20名
 - 実施場所 志布志高校美術室
 - 実施期間 5月6日(土)、5月20日(土)、6月3日(土)、6月17日(土)、7月1日(土)、7月15日(土)、7月29日(土)
 - 時間 午後1時～午後4時
 - 学習内容 果物や花、静物や風景、人物を描きます
 - 受講料 無料
 - 各自で準備する物 鉛筆、消しゴム、スケッチブックなど
 - 申込先 〒899-17104 志布志市志布志町安楽178 志布志高校 県民大学講座係 TEL099-472-0200
 - 記入事項 受講希望と記入し、氏名、年齢、性別、住所、電話番号も書いてください。返信用のハガキの宛名も書いておいてください。
 - 締め切り 4月30日
- ※受講決定については、返信用ハガキで5月2日までにお知らせします。

お知らせ

平成18年度曾於南部厚生事務組合職員採用試験

- 1 職種および人員 管理栄養士 1名
- 2 受験資格
 - ・ 昭和45年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた者
 - ・ 高等学校以上の学歴を有する者
 - ・ 管理栄養士の資格を有する者
 - ・ 職員に採用後は、志布志市または大崎町に居住できる者
- ただし、次のいずれかに該当する者は受験できません。
 - (ア) 日本国籍を有しない者
 - (イ) 成年被後見人および被保佐人
 - (ウ) 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることなくなるまでの者
 - (エ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者
- 3 試験の方法
 - ① 作文試験
 - ② 面接試験
- 4 試験の日時および場所
 - ・ 日時 5月14日(日) 午前9時～
 - ・ 場所 志布志市役所

志布志支所1階会議室
5 受験申込の期間および手続

- (1) 申込期間 4月14日(金)から4月28日(金)まで(土、日曜日を除く)の午前9時から午後5時まで受け付けます。
- ただし、郵送の場合、4月28日(金)の消印のあるものは受け付けます。
- (2) 申込手続
 - ① 受験申込(曾於南部厚生事務組合事務局に準備してあります)に必要な添付書類を添えて事務局に申し込んでください。
 - ② 添付書類
 - ア 履歴書(自筆のもの、写真は無帽で正面から写したものを貼付)
 - イ 卒業証書または卒業見込証明書
 - ウ 写真1枚(履歴書に貼付したものと同一もの 縦3・5cm×横3・0cm)
 - エ 資格取得証の写し
 - 6 その他 合格者には直接通知します。

平成18年4月から巡回交通安全故相談が変わります

偶数月に志布志町役場で行っておりました巡回相談が廃止され、奇数月のみ県大隅合同庁舎で実施されます。

なお、相談を受ける際には予約が必要になります。直接、最寄りの交通事故相談所へ相談日の前々日までに申し込みをしてください。

◆巡回交通安全相談

- 県大隅合同庁舎 TEL099-482-1111
- 奇数月第2水曜日
- (5月のみ第3水曜日)
- 午前9時30分～午後3時30分

◆常設交通事故相談

- 県鹿屋合同庁舎 TEL099-4-43-13121
- (内線218)
- 土、日、祝日を除く毎日
- 午前9時～午後3時30分

◆国民健康保険には、いろいろな給付制度があります

◆温泉保養所利用券

国民健康保険の加入者が大崎町と契約した温泉保養所(現在は篠段温泉湯のみ)を治療目的として利用する場合、申請により利用券の交付が受けられます。

●1人あたり年間限度

- 200円×20枚以内
- (1回につき10枚を2回まで)

●申請に必要なもの

- ・ 国民健康保険証

◆世帯主の印鑑
人間ドッグ助成

国民健康保険の加入者が人間ドッグ(脳ドッグを含む)を利用した場合、検査料の一部を助成します。

●1回あたり助成金

- 15,000円
- (1人につき年1回のみ)

●申請に必要なもの

- ・ 印鑑
- ・ 領収証
- ・ 国民健康保険証
- ・ 世帯主の普通預金通帳

(郵便局を除く)
その他にも、いろいろな給付制度があります。詳しくは、左記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

- 大崎町役場住民課国民健康保険係 TEL099-476-1111
- (内線126・127)

鯉のぼりは電線にふれないところで

お子さまの健やかな成長を願う鯉のぼり。
次のようなことに気をつけて鯉のぼりをあげましょう。

●鯉のぼりは電線から十分に離れた安全なところに立てましょう。

●鯉のぼりのポールを立てるとき、倒すときは、電線に触れないように注意しましょう。

●もし、鯉のぼりが電線にかかった場合は、危険ですから自分で取らずに、すぐに最寄りの九州電力